

第6回「公的年金制度及びその周辺知識に関する研修」開催のご案内

社会保険労務士総合研究機構では、本年度も「公的年金制度及びその周辺知識に関する研修（理論編・実践編）」を開催することとなりました。この研修は、年金制度の専門家として制度内容に精通していることを大前提として、これまであまり共通認識としてこなかった年金制度の現状・課題や制度理念・意義・役割といったマクロ的・総論的な内容について再認識し、今後ますます必要となる個人への将来生活設計・老後所得保障に関するアドバイスや経営コンサルティングの一要素となっている企業年金制度とそれに付随する従業員教育などに対応できるよう、それらを「公的年金の周辺知識」として位置付け習得することで、社労士の業務の幅をさらに広めることを目指すものです。本号では、まず座学を中心とした「理論編」の開催についてご案内いたします。

なお、グループワークを中心とした「実践編」につきましては、令和3年2月5日（金）～7日（日）の開催を予定しており、「理論編」・「実践編」とも修了された方には、連合会より「高度年金・将来設計コンサルタント（登録商標第5933395号）」の称号が付与されます。「実践編」は「理論編」修了者のみが受講可能となりますので、ぜひこの機会に受講いただきますようお願い申し上げます。

〈目的〉

- (1) 年金に関する業務を行う際の前提として、公的年金制度の現状と課題を踏まえ、その理念・意義・役割等について改めて確認し、十分に理解するとともに年金関連の正確な情報を広く発信するための知識の向上を図る
- (2) 壮年・中年期を対象とした「ライフプラン」設計及び定年後の「リタイアメントプラン」設計や、企業を対象とした「企業年金」、従業員教育等に必要「付加価値能力」の向上を図る

※公的年金制度の内容、法令について詳細に解説するものではありません。

〈日時〉

令和2年10月17日（土）、18日（日）、
11月7日（土）、11月8日（日）の計4日間

〈会場〉

東京都内

〈受講料〉

55,000円（税込、教材費含む）

※宿泊先等は、各自で手配いただきますようお願い申し上げます。

前回の研修の様子は、以下に掲載しています。

2020年4月号

＜受講科目＞（理論編）

【1日目：令和2年10月17日（土）】

講義
公的年金制度の現状と課題
企業年金等の現状と課題
公的年金制度への不信や誤解をとくために

【2日目：令和2年10月18日（日）】

講義
企業年金・個人年金の制度概要
資産運用の考え方と従業員教育

【3日目：令和2年11月7日（土）】

講義
ファイナンシャルプランニングを行うための倫理と個人情報
60歳までのライフプランと必要知識
60歳までのCF表作成
60歳以降のプランニングと必要知識

【4日目：令和2年11月8日（日）】

講義
60歳以降のCF表の作成
経営者と企業経営を語り合うための会計知識

申込方法等の詳細につきましては、本誌7月号以降でご案内いたします。

※上記はあくまで予定です。変更の可能性もありますので、予めご了承ください。なお、変更が生じた場合、連合会ホームページ等によりご案内いたします。

【お問い合わせ先】 全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士総合研究機構 TEL:03-6225-4864

明治大学大学院経営学研究科(経営労務プログラム) 募集のご案内(予告)

平成20年度より、明治大学大学院経営学研究科に経営労務プログラムが開設され、連合会より同プログラムに社労士を推薦することとしております。

同プログラムへの推薦により、これまでに107名の社労士が明治大学大学院に入学し、修了した方にはMBA(経営学修士)が授与されています。

令和3年度入試につきましては、募集要項が確定いたしましたら、本誌7月号以降にご案内する予定です。推薦をご希望の方は、ぜひご応募いただきますようお願い申し上げます。(昨年度の募集要項については、本誌令和元年8月号34~37頁をご参照ください。)

入試説明会について(お知らせ)

本誌5月号においてご案内いたしました入試説明会開催につきましては、現在実施方法等を検討中です。詳細が決定次第、本誌7月号以降または連合会ホームページよりご案内する予定です。

詰将棋



山中高尚

(持駒) 金桂

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						飛	飛		一
						鯨		皇	二
						鯨		王	三
						角	卒		四
								卒	五
									六
									七
									八
									九

〈ヒント〉
逃げ道封じ。

9手詰

★解答は29頁に